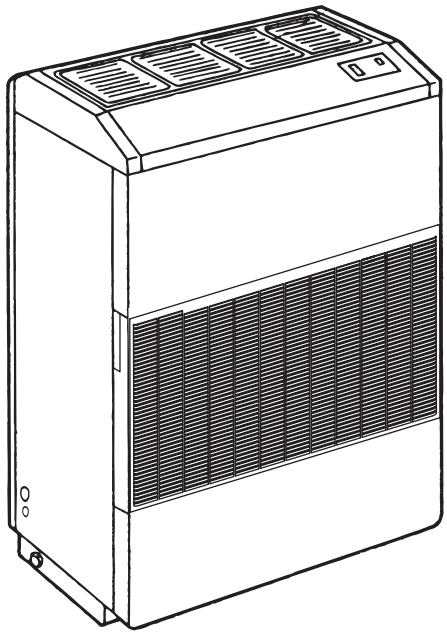
MITSUBISHI ELECTRIC

三菱電機 産業用除湿機

形名

KFH-P08RB-W
KFH-P08RB-BK
KFH-P08RB-W-BKN
KFH-P08RB-W-Q（セット形名:KFH-P08RB-W-CM）

据付工事説明書（販売店・工事店様用）



この製品の性能・機能を十分に発揮させ、また安全を確保するために、正しい据付工事が必要です。
据付工事の前に、この説明書を必ずお読みください。

もくじ　　ページ

安全のために必ず守ること……2
1. 据付工事……7
2. 電気工事……8

WT06597X02

安全のために必ず守ること

- この「安全のために必ず守ること」をよくお読みのうえ、据付けてください。
- ここに記載した注意事項は、安全に関する重要な内容です。必ずお守りください。

⚠ 警告	取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度
⚠ 注意	取扱いを誤った場合、使用者が傷害を負うことが想定されるか、または、物的損害の発生が想定される危害、損害の程度

- 図記号の意味は次のとおりです。

（一般禁止）

（接触禁止）

（水ぬれ禁止）

（ぬれ手禁止）

（一般注意）

（発火注意）

（感電注意）

（高温注意）

（回転物注意）

（一般指示）

（アース線を必ず接続せよ）

- お読みになったあとは、お使いになる方に必ず本書をお渡しください。
- お使いになる方は、この本書をいつでも見られるところに大切に保管してください。移設・修理の場合、工事をされる方にお渡しください。また、お使いになる方が代わる場合、新しくお使いになる方にお渡しください。

電気配線工事は「第一種電気工事士（工事条件によっては第二種電気工事士）」の資格のある者が行うこと。

一般事項

⚠ 警告

当社指定の冷媒以外は絶対に封入しないこと。

- 使用時・修理時・廃棄時などに、破裂・爆発・火災のおそれあり。
- 法令違反のおそれあり。

封入冷媒の種類は、機器付属の説明書・銘板に記載し指定しています。

指定冷媒以外を封入した場合、故障・誤作動などの不具合・事故に関して当社は一切責任を負いません。

禁止

特殊環境では、使用しないこと。

- 油・蒸気・有機溶剤・腐食ガス（アンモニア・硫黄化合物・酸など）の多いところや、酸性やアルカリ性の溶液・特殊なスプレーなどを頻繁に使うところで使用した場合、著しい性能低下・腐食による冷媒漏れ・水漏れ・けが・感電・故障・発煙・火災のおそれあり。

使用禁止

安全装置・保護装置の改造や設定変更をしないこと。

- 圧力開閉器・温度開閉器などの保護装置を短絡して強制的に運転を行った場合、破裂・発火・火災・爆発のおそれあり。
- 設定値を変更して使用した場合、破裂・発火・火災・爆発のおそれあり。
- 当社指定品以外のものを使用した場合、破裂・発火・火災・爆発のおそれあり。

変更禁止

電源プラグを抜いて運転を停止しないこと。

- 火傷・感電のおそれあり。

使用禁止

ユニットを水・液体で洗わないこと。

- ショート・漏電・感電・故障・発煙・発火・火災のおそれあり。

水ぬれ禁止

水・液体で洗わないこと。

- ショート・漏電・感電・故障・発煙・発火・火災のおそれあり。

水ぬれ禁止

電気部品に水をかけないこと。

- ショート・漏電・感電・故障・発煙・発火・火災のおそれあり。

水ぬれ禁止

濡れた手で電気部品に触れたり、スイッチ・ボタンを操作したりしないこと。

- 感電・故障・発煙・発火・火災のおそれあり。

ぬれ手禁止

掃除・整備・点検をする場合、運転を停止して、主電源を切ること。

- けが・感電のおそれあり。
- ファン・回転機器により、けがのおそれあり。

感電注意

薬品散布する場合、ユニットを停止し、カバーを掛けること。

- 薬品がかかると、けが・感電をするおそれあり。

感電注意

運転中および運転停止直後の冷媒配管・冷媒回路部品に素手で触れないこと。

- 冷媒は、循環過程で低温または高温になるため、素手で触れると凍傷・火傷のおそれあり。

やけど注意

掃除をする場合、電源スイッチを切ること。（電源プラグ付きの製品は、プラグを抜くこと。）

- ファン・回転機器により、けが・感電のおそれあり。

回転物注意

換気をよくすること。

- 冷媒が漏れた場合、酸素欠乏のおそれあり。
- 冷媒が火気に触れた場合、有毒ガス発生のおそれあり。

換気を実行

換気をよくすること。

- 燃焼器具を使用した場合、不完全燃焼を起こし、酸素欠乏・一酸化炭素中毒のおそれあり。

換気を実行

ヒューズ交換の場合、指定容量のヒューズを使用すること。

- 指定容量外のヒューズ・針金・銅線を使用した場合、破裂・発火・火災・爆発のおそれあり。

指示を実行

異常時（こげ臭いなど）や不具合が発生した場合、運転を停止して電源スイッチを切ること。

- お買い上げの販売店・お客様相談窓口に連絡すること。
- 異常のまま運転を続けた場合、感電・故障・火災のおそれあり。

指示を実行

端子箱や制御箱のカバーまたはパネルを取付けること。

- ほこり・水による感電・発煙・発火・火災のおそれあり。

指示を実行

基礎・据付台が傷んでいないか定期的に点検すること。

- ユニットの転倒・落下によるけがのおそれあり。

指示を実行

ユニットの廃棄は、専門業者に依頼すること。

- ユニット内に充てんした油や冷媒を取除いて廃棄しないと、環境破壊・火災・爆発のおそれあり。

指示を実行

⚠ 注意

製品の近くに可燃物を置かないこと。また、可燃性スプレーを使用しないこと。

- 引火・火災・爆発のおそれあり。

使用禁止

パネルやガードを外したまま運転しないこと。

- 回転機器に触れると、巻込まれてけがのおそれあり。
- 高電圧部に触れると、感電のおそれあり。
- 高温部に触れると、火傷のおそれあり。

使用禁止

ユニットの上に乗ったり物を載せたりしないこと。

- ユニットの転倒や載せたものの落下によるけがのおそれあり。

使用禁止

食品・動植物・精密機器・美術品の保存など特殊用途には使用しないこと。

- 保存品が品質低下するおそれあり。

使用禁止

濡れて困るものを下に置かないこと。

- ユニットからの露落ちにより、濡れるおそれあり。

据付禁止

部品端面・ファンや熱交換器のフィン表面を素手で触れないこと。

- けがのおそれあり。

接触禁止

水の入った容器を製品などの上に載せないこと。

- 水がこぼれた場合、ショート・漏電・感電・故障・発煙・発火・火災のおそれあり。

水ぬれ禁止

保護具を身に付けて作業すること。

- 高電圧部に触れると、感電のおそれあり。
- 高温部に触れると、火傷のおそれあり。

けが注意

空気の吹出口や吸込口に指や棒などを入れないこと。

- ファンによるけがのおそれあり。

回転物注意

運搬・据付工事をするときに

⚠注意

梱包に使用している PP バンドを持って運搬しないこと。

- けがのおそれあり。

運搬禁止

20kg 以上の製品の運搬は、1 人でしないこと。

- けがのおそれあり。

運搬禁止

据付工事をするときに

⚠警告

可燃性ガスの発生・流入・滞留・漏れのおそれがあるところに設置しないこと。

- 可燃性ガスがユニットの周囲にたまった場合、火災・爆発のおそれあり。

据付禁止

販売店または専門業者が据付工事説明書に従って据付工事を行うこと。

- 不備がある場合、冷媒漏れ・水漏れ・けが・感電・火災のおそれあり。

指示を実行

冷媒が漏れた場合の限界濃度対策を行うこと。

- 限界濃度を超えないための対策は、弊社代理店と相談すること。
- 冷媒が漏れた場合、酸素欠乏のおそれあり。（ガス漏れ検知器の設置をすすめます。）

指示を実行

販売店または専門業者が当社指定の部品を取付けること。

- 不備がある場合、水漏れ・感電・火災のおそれあり。

指示を実行

地震に備え、所定の据付工事を行うこと。

- ユニットの転倒・落下によるけがのおそれあり。

指示を実行

ユニットは水準器などを使用して、水平に据付けること。

- 据付けたユニットに傾斜がある場合、ユニットが転倒し、けがのおそれあり。水漏れのおそれあり。

指示を実行

ユニットの質量に耐えられるところに据付けること。

- 強度不足や取付けに不備がある場合、ユニットが転倒・落下し、けがのおそれあり。

指示を実行

配管工事をするときに

⚠警告

サービスバルブを操作する場合、冷媒噴出に注意すること。

- 冷媒が漏れた場合、冷媒を浴びると、凍傷・けがのおそれあり。
- 冷媒が火気に触れた場合、有毒ガス発生のおそれあり。

冷媒注意

⚠注意

販売店または専門業者が据付工事説明書に従ってドレン配管工事を行うこと。

- 水漏れにより家財が濡れるおそれあり。

指示を実行

ドレン配管は断熱すること。

- 不備がある場合、露落ちにより天井・床が濡れるおそれあり。

指示を実行

電気工事をするときに

⚠警告

配線に外力や張力が伝わらないようにすること。

- 伝わった場合、発熱・断線・発煙・発火・火災のおそれあり。

発火注意

端子接続部に配線の外力や張力が伝わらないように固定すること。

- 接続や固定に不備がある場合、発熱・断線・発煙・発火・火災のおそれあり。

発火注意

電気工事をする場合、主電源を切ること。

- けが・感電のおそれあり。

感電注意

第一種電気工事士（工事条件によっては第二種電気工事士）の資格のある者が、「電気設備に関する技術基準」・「内線規程」および据付工事説明書に従って電気工事を行うこと。電気配線には所定の配線を用い専用回路を使用すること。

- 電源回路容量不足や施工不備がある場合、ユニットが故障し、感電・発煙・発火・火災のおそれあり。

指示を実行

電源には漏電遮断器を取付けること。

- 漏電遮断器はユニット1台につき1個設置すること。
- 取付けない場合、感電・発煙・発火・火災のおそれあり。

指示を実行

正しい容量のブレーカ（漏電遮断器・手元開閉器＜開閉器＋Ｂ種ヒューズ＞・配線用遮断器）を使用すること。

- 大きな容量のブレーカを使用した場合、感電・故障・発煙・発火・火災のおそれあり。

指示を実行

電源配線工事には、電流容量などに適合した規格品の配線を使用すること。

- 不適合の場合、漏電・発熱・発煙・発火・火災のおそれあり。

指示を実行

Ｄ種接地工事（アース工事）は第一種電気工事士（工事条件によっては第二種電気工事士）の資格のある電気工事業者が行うこと。

- アース線は、ガス管・水道管・避雷針・電話のアース線に接続しないこと。
- アースに不備がある場合、ユニットがノイズにより誤動作し、感電・発煙・発火・火災・爆発のおそれあり。

アース接続

移設・修理をするときに

⚠警告

改造はしないこと。ユニットの移設・分解・修理は販売店または専門業者に依頼すること。

- 冷媒漏れ・水漏れ・けが・感電・火災のおそれあり。

禁止

お願い

ユニット内の冷媒は回収し、規定に従って廃棄してください。

- 法律（フロン排出抑制法）によって罰せられます。

ユニットの使用範囲を守ってください。

- 範囲外で使用した場合、故障のおそれあり。

吹出口・吸込口を塞がないでください。

- 風の流れを妨げた場合、能力低下・故障のおそれあり。

エアフィルターを外した状態で運転しないでください。

- ユニット内部にゴミが詰まり、故障のおそれあり。

病院・通信・放送設備がある事業所などに据付ける場合、ノイズに対する備えを行ってください。

- インバーター機器・自家発電機・高周波医療機器・無線通信機器などの影響による、製品の誤動作・故障のおそれあり。
- 製品側から医療機器に影響を与え、人体の医療行為を妨げるおそれあり。
- 製品側から通信機器に影響を与え、映像放送の乱れや雑音の弊害が生じるおそれあり。

下記に示す工具類のうち、旧冷媒 (R22) に使用していたものは使用しないこと。R407C 専用の工具類を使用してください。（ゲージマニホールド・チャージングホース・ガス漏れ検知器・逆流防止器・冷媒チャージ用口金・真空度計・冷媒回収装置）
♦R407C は冷媒中に塩素を含まないため、旧冷媒用ガス漏れ検知器には反応しない。 ♦ 旧冷媒・冷凍機油・水分が混入すると、冷凍機油の劣化・圧縮機故障のおそれあり。

電源配線には専用回路を使用してください。
♦ 使用しない場合、電源容量不足のおそれあり。

延長配線を使用しないでください。
♦ コードリールなどを使用した場合、容量不足のおそれあり。

1. 据付工事

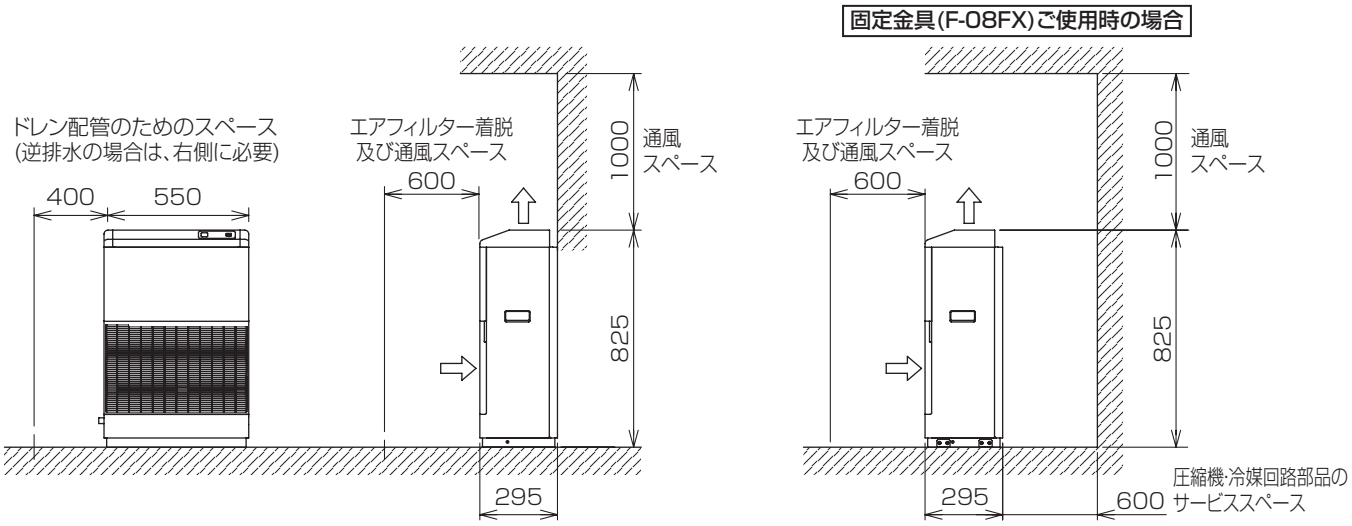
[1] 除湿機の搬入

（1）できるだけ静かに運び 30° 以上傾けないでください。
（2）ロープなどで製品を吊り上げないでください。
　　万一、吊り上げる場合は、梱包の状態で吊り上げてください。

[2] 除湿機の設置

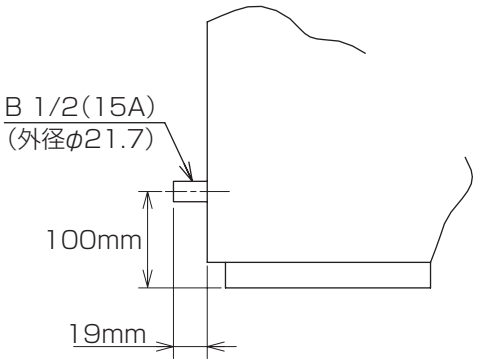
（1）設置場所は、本体荷重に見合う強固な床面等を選定し、水平に設置してください。
（2）風路に障害物がなく良好な気流分布になるような場所を選定してください。
（3）ユニットの保守サービスが容易に出来るように、下図に示したスペースを確保してください。
　　※ユニットを固定したい場合には、別売部品にて固定金具（J-08FX）がありますので、そちらをお使いください。

（単位:mm）



[3] ドレン処理（排水ホースご使用の場合）

（1）排水ホースをドレン排水口に接続し、市販のホースバンドなどで固定してください。
　　（排水ホースの内径は 22mm・外径 29mm 以下のものをご使用ください。）
（2）排水ホースは下り勾配になるように設置し、水が流れることを確認してください。
（3）排水ホースの先端を水中に入れたり、ホースの途中で波打ちがないよう設置してください。
（4）排水ホースの設置場所が氷点下になるところでは使わないでください。排水されず、水があふれるおそれがあります。

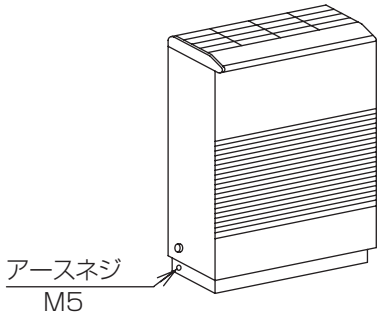


（5）ドレン排水先が汚水の排水口につながっている場合は、エアーカット弁などを用いドレントラップを確実に実施してください。
　　（運転中に異臭がする可能性があります）
（6）排水ホースに露が付くことがありますので、防露工事（断熱工事）を施してください。
　　（断熱材の厚みは 10mm）

2. 電気工事

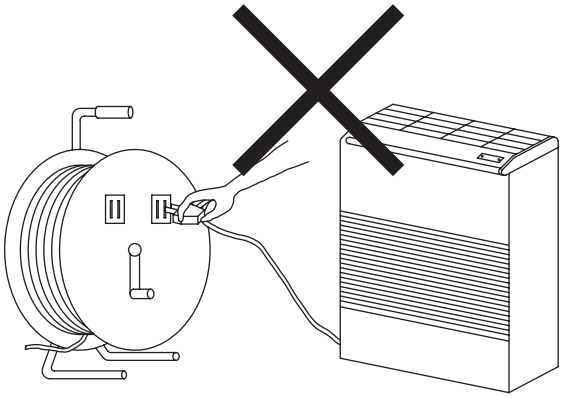
[1] 接地

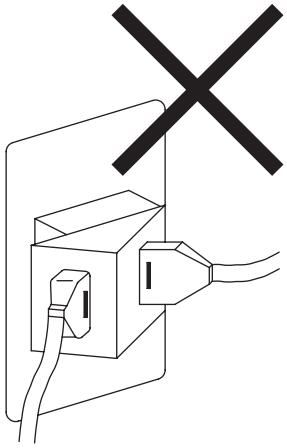
感電防止のため、アースは必ず施工してください。
アース端子は除湿機の左側面下部に設けてあります。
アース線の太さは、1.6mm 以上、
接地抵抗値 100 Ω以下としてください。



[2] 電源

始動時には大きな電流が流れますので、必ず専用のコンセントを使用してください。
また、電源コードを延長する場合は線径 1.6mm 以上の電線を使用し、長さ 20m 以下でご使用ください。
これより細い電線を使用したり長さ 20m を越えると、圧縮機が故障するおそれがあります。
電源コードを折り返して、束ねた状態で使用しないでください。





[3] 過電流継電器容量

過電流継電器容量は 15A 以下としてください。

[4] 漏電遮断器

水気のある場所に設置する場合は、漏電遮断器を設けてください。

[5] 電源容量

複数台同時運転を実施した場合、電源トランス容量不足となり起動不良で異常停止する場合がありますので、
起動時の最低電圧以下での使用はしないでください。

[6] サービス用チェックジョイントの位置

サービス用チェックジョイントは吸入配管にあります。
真空引き・冷媒チャージなどのサービス時にご使用ください。
• キャップ開閉操作はダブルスパナで実施してください。
• キャップの締付けは 12N ·m（120kgf ·cm）で確実に締付けてください。

三菱電機株式会社
冷熱システム製作所　〒640-8686　和歌山市手平6-5-66

WT06597X02